

活動名：第12回福島民報杯スポ少サッカー岩根大会U8

日程：6年9月7日(土), 8日(日)

会場：本宮総合運動公園

参加：J1・J2クラス7名

帯同：小松コーチ

サポート：貝和コーチ

報告：小松

今回私が担当する機会が多いJ1J2選手達と何年かぶりの岩根大会帯同のチャンス頂きました。事前に私と一緒に楽しく戦って欲しいと練習のタイミングタイミングで選手に伝えていたこともあり7名もの参加がありました。

本当にありがたいことだと思います。

まだまだ経験と育成年代です。たくさんの素晴らしい汗をかいて一生懸命にボールを追っかけて欲しいと願うばかりです。

そこに身を焦がすような想いがありましたか？

少しでもあればそれは素晴らしい思い出となることでしょう。そんな体験をたくさんさせてあげたいと心から願うばかりです。

この大会でより一層選手同士が仲良くなりかけがいのない友となったり家族の声援がどれだけありがたく嬉しいことかサッカーが心から大好きなことになるかボールを蹴る喜びを感じるかなどなどたくさんの思いと共にいよいよ当日を迎えることが出来ました。

当日は、まだまだ夏日本当によく走りよく戦ってくれました。

試合は、核となるレギレーションがあるもののその場その場の打ち合わせでかなり変更可能なフレンドリーマッチ形式。出来るだけ長く試合を楽しみたいもっともっと試合がしたいとの観点から5分多い20分ハーフで試合をお願いして前後半で給水タイムを設けて試合を進めました。

その都度その都度走りきった選手達はかなりの水分補給で2日間をやりきってくれました。

時には観戦している私達も唸るプレーがあったり逆に選手1人としては厳しいプレーがあったり

といろいろな経験を積むことが出来ました。

ただ私がコーチとしてお伝えしたいのは、大人の概念や既成事実で選手を奪ってはいけない。

より最大限に選手のポテンシャルやアイデアを引き出すと言う事です。

答えをすぐに与えては行けません。たとえ失敗で遠回りしてもそれは、選手の立派な答えです。それを世代に関係なく尊重して初めて最適だったか…それとも…。

そのためには、許し合える友も必要です。

時には許すと言うより助け合える友も…。

言葉にすればそれは何と簡単でたわいのない事かも知れませんがそれを感じ学ぶ事。

だからこそひと時も個人的行動は、出来るだけ控えて常にチームで行動してもらいました。

特にランチで男女関係なく友として素晴らしい笑顔の中で食事を取ってもらいました。

たくさんのモヤモヤや小松コーチ?ちょっとサッカー教えてください?ちゃんと選手を導いてください?など気疲れするぐらい事がたくさんあったのかも知れません。

なぜ団子サッカー見てられるの…キーパー教えてあげてくださいとか…。

選手なりの気持ちや理屈で戦っているのです。

答えは選手達です。

きっと少し少し何かを見つけ出してくれています。そこから大人になり紳士になり…。

育ちます必ずや。たくさんの答えグラウンドから試合から友から私から見つけ出して欲しいと思います。

なかなか試合が組み込めずたくさんの待ち時間も事実ありました。大変申し訳ありません。

ただある意味の選手達も疲れていた事も事実です。帯同としてチームでもっともっと成長して行きたいと思います。

暑い中2日に渡りたくさんの選手へのサポート声援本当にありがとうございました。

私自身も多々至らない部分もあったことも事実です。この場を借りて今後より一層選手達と一緒に成長して行きたいと思います。

またこの大会参加の各チームの皆様スタッフ関係者様大変お世話になりました。ありがとうございました。またたくさんの学びを積めました。

最後に岩根スポーツ少年団関係各位 様  
この伝統的な大会に参加させて頂き本当にありがとうございました。これから  
もこの大会の発展をお祈りしています。  
お疲れ様でした。

そして保護者の皆様これからも FCAIlez をどうぞ宜しくお願い致します。  
ありがとうございました。

コーチ 小松



